

障連協にゅーす

第56号

発行日

2026年1月25日

発行者

特定非営利活動法人
旭川障害者連絡協議会

【目次】 ・理事長あいさつ ・事業報告（モルック教室 / スポーツミニフェスタ / スポーツ交流会 / 水泳記録会 / 障害者週間記念事業）
・各団体から活動報告 ・今後の主な行事日程 ・真心会様から寄付 ・編集後記



新年あけましておめでとうございます



「新年を迎えて」

旭川障害者連絡協議会 理事長 今野 浩明



新年明けましておめでとうございます。

日ごろ、障害者福祉の充実を目指す当協議会の活動にお力添えをいただいている皆さまに、深く感謝申し上げます。

昨年は、「2025年問題」といって団塊の世代が75歳以上となり、国民の5人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会が訪れることで、人材の確保などの諸問題が深刻化してくる年とされていました。すでに、障害のある方の生活にとって重要な医療や福祉、公共交通といった分野などではサービスの変更・縮小化が実施され、社会システムの変調に不安を感じている方の声もよく聞くようになっていきます。

こうした中、今年2026年4月には、市立旭川大学に「地域創造学部」が新設されます。この旭川には医療集積や障害のある方の活動をサポートする様々な団体の存在、そして、旭川を離れていても故郷のために何かできることはないかと考えてくれている方々が多数いるという強みがあります。そこへ、地域の未来を創るための研究と人材育成を担う力が加わるのですから、これはとても大きな希望です。当協議会といたしましても強力な味方の出現を励みに、関係する皆さまとの連携強化を図りながら、持続可能な共生社会の実現に向け取り組んでまいります。

2026年は午(うま)年です。干支の中でも「うま」は人を助ける存在としてたくさんの友人に囲まれることを表し、また、前向きなエネルギー・成功・繁栄を意味します。

厳しい社会環境にあっても、皆さまとともに障害者福祉施策の磨き上げをさらに進め、障害のある方や関係する方々の暮らしが豊かでかけがえのないものとなる社会を目指して駆け抜けてまいりましょう！！「和衷協同」and「十人十色」

事業報告

モルック教室

8月24日、モルック教室を開催いたしました。約30名に参加いただき、ルール説明、投擲方法（投げ方）について説明を受け、最後にゲーム形式で対戦していただきました。老若男女問わず誰でも楽しめるモルックの魅力をお伝えすることができ、笑顔あふれる教室となりました。



障害者スポーツミニフェスタ

9月14日、スポーツミニフェスタを開催いたしました。約80名の方に参加いただき、①幸運ゲーム ②どんな景品かな？ ③ゲーム体験レース の3競技を実施しました。誰もが競技に参加できる内容となっており、交流と親睦を深めることができました。



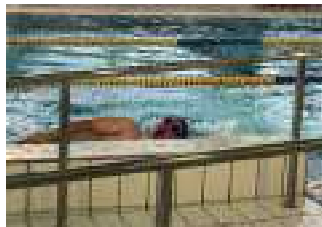
障害者スポーツ交流大会

10月19日、スポーツ交流大会を開催いたしました。各種障害者スポーツ教室の集大成として約80名が参加し、モルック・ボッチャ競技の対戦を行いました。スポーツを通して交流と親睦を深め、参加された皆さまで楽しむことができました。



障害者水泳記録会

11月9日、障害者水泳記録会を開催いたしました。参加選手、運営スタッフ、学生ボランティアを含め約100名の参加となりました。選手の皆さまが、自らの記録に向けて日頃の練習の成果を発揮し、真剣に泳いでおりました。また、団体の垣根を超えて、参加団体の皆さま全員で選手に声援を送り、競技後に拍手で迎えている光景がとても印象的でした。



障害者水泳教室10月開催分

10月1日～22日の毎週水曜日、全4回実施いたしました。本教室は初心者から経験のある方まで様々な方に参加いただけます。参加者の皆さまにとって心身ともに健康を促進し、充実した時間を過ごしていただけた教室となりました。

「障害者週間記念事業」開催

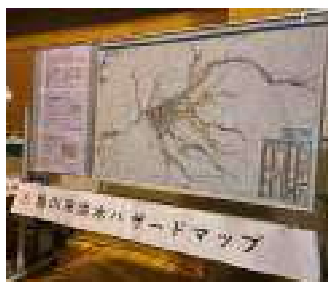
【オープニング】 sign song smile

オープニングは sign song smile 様の手話歌です。

1曲目は復興ソングの『花は咲く』、2曲目は『故郷』、3曲目は『WAになっておどろう』をご披露いただきました。会場いっぱいに手話の花が咲き、大きなWAが広がりました。



手話「花」



【記念講演】 障害者のための防災を学ぼう

講師は旭川市防災安全部防災課主幹 伊藤敦子 氏でした。パワーポイントを使っの「要配慮者への災害対策」、「避難行動要支援者の避難支援」、「旭川市への取り組みについて」等々を話されました。防災テント、簡易トイレ、段ボールベッドの展示、防災食の試食がありました。

○ 配慮が必要な方への対応

■ 要配慮者の把握

指定避難所へ避難された方々の状況把握に努めます。
一般の避難スペースでの生活が困難な要配慮者がいる場合
※ 施設内に要配慮者専用スペースを確保

指定避難所での避難生活が困難な方がいる場合

- ※ 福祉避難所の確保を検討
- ※ 状態により福祉施設への緊急入所、病院への緊急入院等を検討

災害対策本部へ報告

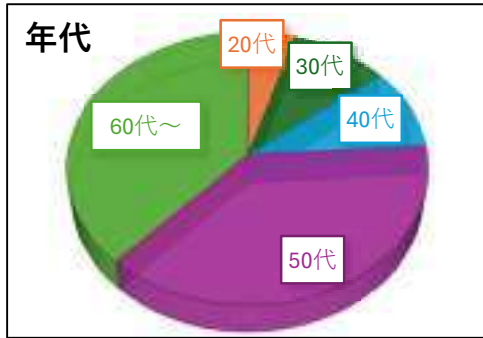
※ 福祉避難所開設の要請

講演資料より一部抜粋
障連協HPから閲覧できます。

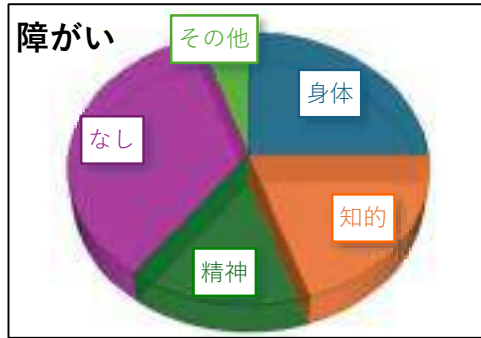


障害者週間アンケート結果

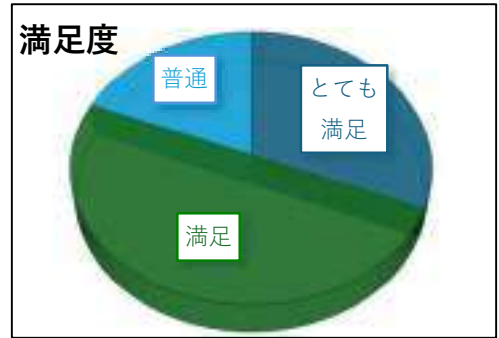
アンケートにご協力いただいた方の人数 男性:19人 女性:12人



年代別					
10代	20代	30代	40代	50代	60代~
0	1	2	2	8	8



障がいの種類					
身体	知的	精神	難病	なし	その他
5	4	3	0	7	1



満足度				
とても満足	満足	普通	やや不満	不満
5	8	3	0	0

(単位:人)

参加者のご感想・ご意見

- ・分かりやすくスライドも見やすかったです。障害のある息子のことを思って聞いていました。
- ・1週間分の備蓄品を持って避難はできない。重くて持てないんじゃないかと思った。
- ・段ボールベッド、実物初めて見たけど良いんじゃないと思った。
- ・簡易トイレ、車いす利用者には使えないと思った。
- ・災害食、初めて食べたけど毎回となると、、、
- ・要配慮者支援に対する行政の方針、方法等について学ぶことができた。
- ・要支援者に対しての旭川市の取組を知ることができてよかった。
- ・自助・自分のできること準備などが必要であることが分かりました。
- ・大雨や洪水、火災などに気を付ける。
- ・実物の展示があって良かったです。
- ・とても災害が多くなっているのでもともと良いと思いました。
- ・防災について改めて考えていく必要があると思った。
- ・災害対策は必要なものなので今回体験できて良かったと思います。
- ・実際のとき(災害発生時)の時に役に立つもので良い講演だと思います。
- ・手話通訳や字幕が付き、講師の方も大変わかりやすい言葉でよく理解ができました。
- ・講演のとき寒かった。手話通訳が暗くて見えにくい。質問内容を事前にするのはどうかな？
- ・旭川は災害が少ないので良いが、吹雪時の老人一人暮らしの人は心細い。屋根雪、除雪時の対策も必要では？
- ・手話通訳の方々がとても素敵でモニターの表示も分かりやすく、各ブースでの展示(販売)もとても興味を惹かれました。
- ・福祉避難所は非公開なのですね。2ヶ所オープンなのですね。いざの準備必ず土足厳禁そうなのですね。車いすには不利ですね。

分かっちゃ
いるけど、、、
を再確認



たくさんのご感想・ご意見ありがとうございました。

各団体から活動紹介

- ・旭川精神障害者家族連合会 事務局長 五十嵐 広平
- ・旭川ろうあ協会 副理事長 大内 祥一
- ・旭川中途難聴者協会 会長 中村 幹子

秋の家族研修会 🍁 まあぶ温泉とリンゴ狩り 🍏 旭川精神障害者家族連合会 事務局長 五十嵐 広平

お天気に恵まれた10月11日、福祉バスを利用して深川市のアグリ工房「まあぶ温泉」に向かいました。家族会では何度かおじゃましているお馴染みの場所です。今回は「旭川手をつなぐ育成会」の菅原広美さんが、普段からの顔なじみということで参加してくれて総勢20名の参加となりました。福祉バスに乗り、12号線を南下して音江で左折すると、道の両側に真っ赤なリンゴやブドウの畑が目に見え、飛び込んできて、「美味しいよ～」とアピールしているようでした。イルムの丘リンゴ園「藤谷果樹園」では、何時ものリンゴ狩りを皆で楽しみました。木々になっているのは「つがる」という品種で、1個300円と値上がりしていましたが、大きく赤々と輝いて芳醇な香りでした。リンゴ園の方から摘果の仕方を教えてもらい、参加者それぞれが家へのお土産のリンゴを重たそうに抱えたり、前回も参加したAさんは、リンゴ園のベンチで持参したおろし金を使い、すりおろしたリンゴをご夫婦で美味しそうに食べたりしていました。リンゴ狩りの後は、「まあぶ温泉」に向かい、大広間で談笑しながら手作りの仕出し弁当で昼食を取り、食後は、館内の土産売り場をのぞいたり、温泉にゆったりつかったりと短い秋の一日を楽しんできました。



第25回夏季デフリンピック東京大会開会式に参加して

旭川ろうあ協会 副理事長 大内 祥一

第25回夏季デフリンピック東京大会が11月15日(土)16時より東京体育館で開会式が行われて開幕しました。

81の国・地域から約3,000名が参加し、観客を含めると約1万人が来場する大規模な大会となりました。

開会式で行われた「光のリレー」は世界初の試みであり、灯された光が形づく大きな木が未来への希望を象徴しており、大変感動的でした。大会全体では約20万人を超える来場者があり、北海道代表選手がメダルを獲得するなど、大きな活躍が見られ、成功裏に大会を終えることができました。

北海道のデフアスリートの皆様には、「おめでとう、そしてお疲れさま」と心からのエールを送ります。

次回のデフリンピックは、2029年にギリシャ・アテネで開催されることが発表されました。選手の皆様には次期大会に向けて研さんを重ねていただき、また会員としてもますます活躍されることを願っております。



東京体育館の前
友人と私



開会式の入場行進

旭川中途難聴者協会の活動報告

旭川中途難聴者協会 会長 中村 幹子

令和7年11月27日、ときわ市民ホールにおいて旭川中途難聴者協会の年忘れパーティを開催しました。遠くは士幌町から駆けつけてくれた賛助会員さんもありました。参加者は20名で、一人ずつ氏名だけを自己紹介してもらい、その後はトランプゲーム、ババ抜き、芋ゴルフ、新聞ちぎりをやりました。どのゲームも盛り上がり皆さん笑顔で楽しんでくれたのが良かったです。当日は開催に協力してくれた皆さんに感謝とお礼を申し上げます。



今後の主な行事日程

- 旭川市障害者卓球大会 R8年1月25日(日)
- 新年交礼会 R8年1月31日(土)
- レク・ボッチャ教室 R8年2月8日(日)
- スカットボール教室 R8年3月15日(日)

真心会様から寄付をいただきました

11月14日、真心会様(会長 富居慶幸様)より障連協他の団体に寄付をいただきました。富居会長から「真心会では、例年、障害者団体への寄付活動を行っており、今年も8月に『チャリティ・マルシェinCoCoDe』を開催し、その収益を障害者団体の活動のために寄付させていただきます」とご挨拶をいただきました。ありがとうございました。



編集後記

明けましておめでとうございます。昨年の障害者週間記念事業は防災について。次の日に地震が起きて旭川も震度3だったとか。タイムリーな講演だったけど、自分事として考えてみる年にしていきたいと思います。今年もよろしくお願いします。(K.)

NPO法人 障連協にゅーす 第56号

■ 発行日 / 2026年1月25日

■ 編集 / 旭川障害者連絡協議会

■ 発行者 / 理事長 今野 浩明

■ 住所 / 旭川市宮前1条3丁目3番7号

旭川市障害者福祉センターおびつた3階

■ 電話・FAX / 0166-31-2226

ホームページリニューアル

障連協のホームページが新しくなりました!障連協にゅーすの閲覧・ダウンロードも可能です。ぜひご覧ください。

